

contents

- 2・3 / **特集** Buddhist Weddingのススメ
- 4 / 京都からのたより
- 5 / 全国各地からのイベントだより
- 6 / 法話の時間
- 7 / ♪ New Goods紹介
- 8 / インフォメーション

仏教青年連盟機関紙

まこと

No.135

総裁(新門)さま・流豆美さま
3月25日
ご成婚おめでとうございます。

info

発行所 〒600-8501
京都市下京区堀川通花屋町下ル
浄土真宗本願寺派宗務所内
浄土真宗本願寺派
仏教青年連盟広報委員会

郵便振替口座 01080-4-4571

電話 075(371)5181(代)

印刷所 創文堂印刷株式会社

HP ADDRESS <http://www2.hongwanji.or.jp/soshiki/yba/>

特集

Buddhist Wedding のススメ

「結婚式」とは、結婚の誓約をする儀式のこと。あなたは、そのときに何に対して何を誓うのですか？

結婚が決まると、まず選択しなければならないのは「何式」で結婚式をするかです。「ウェディングドレスを着たいからキリスト教の教会がいい」とか「お洒落なチャペルで」とか「純和風にしたいから、神前で三三九度」とかファッションだけで決めていませんか？

でも、あなたの宗旨が浄土真宗なら仏前結婚式 (Buddhist Wedding) がオススメ！ほとけさまと共に歩んでいく人生だからこそ、自分の生き方として、仏前で結婚式を選択することがオススメです！「でも、ドレス着たいし、仏前結婚式って堅苦しそうだし、いまいち仏前結婚式ってピンと来ない」という方、そして、いつか結婚するかもしれない皆さんにもっと仏前結婚式の実際を知ってもらおうべく取材に行ってみました！

(取材/三浦明利 奈良教区)

実際にどんなプログラムが見よう



1. 合掌・礼拝
2. 勤行



3. 司婚・誓いのことば



4. 念珠授与



5. 焼香
6. 法語
7. 合掌・礼拝

新郎・新婦さんインタビュー

「僕たちみたいな、お寺の出身でない方にも、もっと仏前結婚式を知ってほしいですね。」と語る金沢豊さんと清水貴子さん。このお二人が1月22日に龍谷大学の大宮学舎本館で「仏前結婚式」を挙げられました！

新郎の金沢豊さんにインタビューしました。

「仏前結婚式」を選んだ理由は？

「誓いの場所としては、教会・神前に比べると仏前に一番親近感があるからです。結婚するときはキリスト教、死ぬときは仏教のように住み分けをする方もいますよね。それって不自然な感じがします。僕の場合は家に仏壇があって、そこで生活してきたのですから、結婚も仏前でやるのが一番自然なカタチなのです。」

仏前式のココが魅力！

「仏前儀式に堅苦しいイメージを持つ人がいるかもしれませんが、思ったよりセルフプロデュースが可能なところですよ。(和装・洋装を問わないなど)」



式でこだわったところ

「可能な限り沢山の人に来ていただきました。自分たちなりに門戸を広げることにこだわりを持っていました。」

どんな家庭を築きたいですか？

「社会的に自立し、たくましく自然体の家庭を築きたいです。」

仏前結婚式の存在を知ったきっかけ。

「5年ほど前から何度か大宮学舎本館で見たことがありました。」

これから仏前式をしようという人たちにアドバイスを。

「一度きりの教会より、一生の仏前！」



金沢豊さん 清水貴子さん

大宮学舎本館は
レトロで雰囲気もいいし、
京都駅から近くて
立地もいいね

正座じゃなくて
椅子なんだ！

私も仏前結婚式を
してみたいな！

硬い雰囲気かと
想像してたけど、
すごくいい感じでした！

誓いのことばが
感動的でした

洋装でも和装でも
いいんですね

和風で素敵でした

参加者の声



WHICH DO YOU LIKE??



仏前結婚式は
ドレスでもお着物でもOKなのです。
さあ、あなたはどっち?



WHERE DO YOU LIKE??

今回、金沢豊さんと清水貴子さんが結婚された式場を紹介します。

■龍谷大学大宮学舎・本館

1879(明治12)年に建てられたこの建物は「擬洋風建築」といわれ、外観上は石の柱が立ち並び、実際は木造で、石材を柱などの木部に貼り付けてある。この工法は、比較的早い時期に外国人が居住した横浜などで用いられていたが、現存するのは全国でもめずらしい。また、大宮学舎の本館、北翼、南翼など5つの建造物が国の重要文化財に指定されている。



北翼/南翼
ベランダの連続アーチは、木を弓形に組み、石灰モルタルを使った石造り風。



木造石貼り2階建てのレトロな建築。モダンを感じる内装。



明治時代から時を刻み続けてきた手巻き式の時計。



◀石柱+鋳鉄製扉
和洋中それぞれの意匠が溶け合った扉は、イギリスのアームストロング社製。

頭上には▶
オシャレなライト。



仏前結婚式のできるところ

- 本願寺(大谷本廟・聞法会館)
- 浄土真宗本願寺派 各別院・各寺院
(設備により結婚式を行えない寺院もあります)
- 龍谷大学(大宮学舎本館講堂・深草学舎顕真館・瀬田学舎樹心館)
ホテルでもできるところがあります。
まずは仏教青年連盟事務局にお問い合わせください☆

BUDDHIST ROSARY



お念珠は、これからみ教えのもと、共に歩いていく二人に授与されます。

WEDDING RING



プログラムに“指輪交換”を入れることもできますよ。



もっと知りたい!
この特集を読んで、興味をもったあなた! もっと詳しく知りたい方にオススメなのが、YBAが製作したビデオ、その名も「お寺で結婚式をしよう」。

無料で貸し出しているのでHPが各教区仏教青年連盟事務局にお問い合わせください☆



お問合せ

仏教青年連盟事務局

TEL: 075-371-5181(代)

http://www2.hongwanji.or.jp/soshiki/yba/

京都からのたより

1月9日(祝)本願寺門法会館にて 第54回本山成人式が開催されました。



この度、私たちは多くの方々に支えられ、本山で成人式を迎えられたことを嬉しく思います。成人を迎えたということは一つの節目であります。ご門主さまのお言葉に「二十歳になるまでは、家族や友人、恩師といった自分と関わる方々に『して頂く』ことが多かったけれど、これからは私たちが周りの方々に『させて頂く』ことのできる大人になりましょう。」とありました。今まで支えてくださった方々に感謝をし、これからは私たちが支えていく番だと感じました。

また記念講演では、講師の森田眞田先生が「自分しかなかった自分、他人しかなかった自分、自分も他人も知らない自分がある。色々な縁に触れると何をやるか分からない私たちを阿弥陀さまは見捨てず、救いの目当てとする。」と話され、私たちの良い所も悪い所も阿弥陀さまは全て受け入れてくださっているということをお聞きすることができ、嬉しく思いました。三浦明利さんたちによる仏教讃歌演奏会はずばらしく、これからの未来に向かってやる気を起こさせてくれる歌詞がとても心に響きました。仏教讃歌をアレンジした曲はとても親しみやすく、もつと多くの人たちに聴かせていってほしいと思います。

(童) 法慧 (安芸教区)



第7回リーダー育成講座



去る昨年11月26、27日。「みんなと一緒に歩いていきたい!」をテーマに本願寺山科別院にて第7回リーダー育成講座が開催されました。「子ども達の頃にやった昔遊びでみんなと仲良くなるよ」ということでまずは秋晴れの境内で「だるまさんが転んだ」や「手つなぎ鬼」などの外遊び。最初は「手つなぎ鬼のとき、逃げないで端っこにいる」という様子が見られた参加者たちでしたが、だんだん歓声嬌声をあげて楽しむようになりました。最後には初めて会った人とも話がはずみ、「この研修では、一人である人がいないので『初めて来た人が誰だかわからない』という言葉までささやかれました。1日目の研修では「オリジナルの遊びを創って遊ぼう」というものもありました。参加者はそれぞれグループに分かれ、遊びのルールの決定や進行方法を話し合い、人に楽しんでもらえる遊びを創ろうと努力していました。

実を言うと、今回の研修の中で最も盛り上がったのは懇親会です。懇親会会場の片隅に置いてあった剣玉や折り紙などの遊び道具を通して研修中に話せなかった人と話したり、「実は剣玉が得意」といった研修だけでは見えない人の一面を見つたりすることができました。また遊びの教え合いやできた喜びを分かち合う様子が自然に見られ、まるで幼馴染が集まったような雰囲気でした。

翌日の研修では、教区で仏青活動を推進していくにはどうしたらよいか、意見を話し合いました。前日の活動や懇親会で遊びを通して仲間から認められて自信がついてきたのか、積極的に意見を申し出ている様子が見られました。参加者たちはこの研修で学んだことや楽しかった思い出を教区で活かそうという思いを胸に、北は北海道、南は九州へと帰って行きました。

(鈴木) 敏子 (国府教区)



第1回中央委員会

1月28日(土)・29日(日)の2日間に行われ、2005(平成17)年度 第1回中央委員会が本山宗務総合庁舎にて開催されました。

今期の中央委員の皆さんにとっては、今回が最後の中央委員会となり、すでに顔馴染みになった各教区の中央委員が久しぶりに集いました。

まず報告事項では、2004(平成16)年度及び2005(平成17)年度の仏青活動として、全国大会、中央研修会やリーダー育成講座、また各委員会での活動報告がありました。

次に審議事項では、2004(平成16)年度の仏青連盟費歳計決算の承認、2005(平成17)年度の追加更正予算案、及び2006(平成18)年度の予算、活動方針並びに事業計画案についての審議をし、承認されました。

審議では、予算と決算の差額や、活動の詳細な内容などについての質疑応答がありました。こうして各教区より選出された中央委員により、活発な審議が執り行われました。

広報委員会からは、2006(平成18)年度は機関紙「まこと」の全面カラー化にあわせてデザインの一歩をはずり、教材委員会のアイデアのもとで出来あがったグッズの宣伝も載せながら、読みやすく、親しみやすい「まこと」にしていきたいということ、またリニューアル予定のHPには、パラエティに富んだ記事を掲載していきたいとの報告がありました。

委員会の2日目は締めくくりにして、中央委員の皆さん一人ひとりがこの2年間を振り返っての思いを語りました。今から約2年前の中央委員会では初めての顔合わせということもあり、緊張した中で報告や審議が進められていきましたが、今回は最後なので、程良い緊張感の中で、拳手をして質問や意見を述べる中央委員の数が増え、意義深い委員会となりました。

最後に、今期中央委員の皆さん、2年間本当にお疲れ様でした。この2年間、多くの人の出会いがあり、色々な経験を通して様々なことを学び得られたことと思います。これからも身近なところから周りの人たちにその思いや体験を伝えていくことで、素晴らしい仏青活動になることを願っています。

(栗本) 真実子 (岐阜教区)

全国各地からのイベントだより

2006
全国真宗青年の集い宮崎大会

ありがとう〜今大切なこと〜
8月5日(土)〜8月6日(日)
主催/浄土真宗本願寺派仏教青年連盟
担当/九州ブロック
会場/宮崎県宮崎市

あなたのコインが
森にかかります
「全国から持ちよられている
ダーナ募金って
何に使われているの?」

今年度分のダーナ献金は、前々回の常任委員会で「沙漠緑化アミダの森」に献金することになりました。この団体は沙漠に植林をして緑化を進める活動をしています。

現地で苗木を1本育て、移植するまでにかかる費用はジュース1本分の120円です。その120円によって、世界の沙漠に1本の木が植えられ、森の一部となるのです。

1本でも多くの木を育てるために、ダーナ募金にご協力をお願いします。



第32回九州地区真宗青年の集い・北豊大会

昨年の10月29日、北豊教区担当で開催された「第32回九州地区真宗青年の集い・北豊大会」に参加しました。

今年のテーマは「少年Aは僕のとちだち」。少年犯罪が連日のようにメディアに取り上げられる中で、加害者、被害者、そして私ができるように関わっていきけるのか非常に関心をもつて参加させていただきました。

今回の大会は、九州各地から200人を超える参加者が集まり、さらには第2ブロックからも視察を兼ねて10名ほど参加されました。

鎮西別院での開会式のあと、外松太恵子先生の記念講演がありました。最初に「人身受け難し、いまずに受く」の一文を引いて、「私たちが生まれてくるのは誰かにあつたため、作つたのちではなく、授かっただけのちである」とことを私たちに語られました。講演のあと門司港に移動し、今回の大会の目玉でもある、海峡ディナークルーズに出発。関門橋の下を何度もくぐり、バンドの演奏を聞きながら、いろんな教区の方と交流することができました。締めくくりは打ち上げ花火。全員がデッキに出て秋の夜空に咲く大輪の華に歓声をあげました。

翌日は門司倶楽部に場所を移し、20班に分かれての分散会。前日の外松先生のお話をもとに、身近に被害者や加害者の方がいた時私たちはどのように接したらいいのか、そして、自分自身が当事者になったときは?など、様々な意見を交わしました。

最後は、北豊教区の石本堅正先生にまとの法話をいただきました。外松先生、石本先生の話を通して、今回のテーマは「少年Aは僕のとちだち」でしたが、決して少年Aは私とかけ離れた赤の他人ではなく、むしろ少年Aこそが私の姿ではなかったのか?そんな立場に立つたとき、何ができるだろうか?と改めて考えさせられる2日間でした。

(原田 智昭 福岡教区)



中四国ブロック真宗青年の集い

in AKI 2005

11月19日・20日と中四国ブロック真宗青年の集いが広島で開催されました。会場は安芸太田町にある温井ダム周辺の温井スプリングス&川・森・文化交流センター。

紅葉の中、四州、山陰、備後、山口、安芸の各教区から30名近い参加者が集まりました。13時からの開会式の後、研修がありました。研修では講師の吉崎哲真先生が法話をしてくださいました。

その後のグループワークでは、戦争を肯定するために作られた宣伝「戦争プロバガンダ10の法則」についての説明を受け、その法則と私たちが日常生活している中で同じことがあるのではないかということについて話し合いました。

研修が終わると宿泊場所の温井スプリングスへ移動。ダムのほりにあるホテルだけあってかなり標高が高く、ちょっと寒かったです。チエックインの後はフリータイム、そして親睦会。親睦会では豪華商品の当たるクイズ&カラオケで交流を深めました。その後も交流を深める夜は長く続いていました。

20日は朝食の後温井ダム周辺でのオリエンテーション。開会式の時みんな緊張しているように見えたけど、このオリエンテーションの時には幼馴染のように話している姿が印象的でした。これからも気兼ねのない話が出るような研修を続けていきたいです。

(中村 道明 備後教区)

法

鈴木寿昭
話の時間

社会問題の「何」が問題？

現代社会において「〜問題」と名づけられているものは数多くあります。人権問題、環境問題、戦争問題、少子高齢化問題など、これらの社会問題への関わり方を「私」という視点から考えてみると、問題となる理由の一つに、「自分には関係のないこと」という「無関心」。次に、自分一人の力じゃどうしようもないから何をしても仕方がない、という「諦めと逃げの言い訳」。もう一つは、みんながしているから仕方がないという「責任転嫁」と大きく分けて三つの問題となる理由が挙げられます。この三つの関わり方の根底には、自分さえよければ、の「自己中心性」があるようです。

仏教は、「縁起の法」を説きます。簡単に言うと、いかなる物事も独立して存在しているのではなく、お互いに関係しあっているというところで、「無関係」な物事は一つもないということです。しかし、先に考えたように、私たちは、社会の問題に対して「関係ない」という態度をとって

るのではないのでしょうか？もとより、阿弥陀さまは私を「凡夫」と見抜かれ、その生命が終わるまで自己中心性から抜けきることのできない、悲しい存在だとおっしゃっています。また、縁により何をかしてしまいかかわらない私でもありません。しかしこんな私であることを、自分では気づくことなく生活しているのが私という存在です。

阿弥陀さまは、そんな私に「ほとけのさとりに開かせたいとの願いをかけてくださっています。それは、すべての生きとし生けるものに、慈悲の心で接するようになってほしいということでもありません。その願いを聞く時、私たちは自らの在り方に慚愧せずにはいられません。慚愧（おはずかしい私）にいたった時、完全ではないが、せめて阿弥陀さまのお心にそった私でありたいという心をいただくのです。たとえそれが阿弥陀さまの真似事としても、社会のいろいろな問題に興味を持ち、自分にできることはないだろうかと考え行動することが、私たちには大切なのではないのでしょうか？

それにはまず、興味を持つことが大切です。無知・無関心ゆえに、知らず知らずのうちに他の「いのち」を、あるいは自分の「いのち」を傷つけているかもしれない。興味を持つことで、今まで気がつかなかったことが分かり、素通りしていた情報が自然と意識の中に入ってきます。その中で「私」にできる何かを一つでも行動に移すことが

尊いことなのではないのでしょうか？

それは、誰かと比べることでありませんし、誇ることもありません。ただただ、限りなきいのちに生かされているお互いが、支えあい尊重しあえる社会を目指すうえで、行動してゆくだけのことなのです。

また、時として社会問題に関心がない方や、行動しない方を一方的に非難することがあります。しかし、非難する（こころには何も生まれませんが）、問題を共有することができなくなってしまう。大切なのは、自らが行動し呼びかけ続けることですし、「私」に何ができるのか、そして何をするかを、常に自分に問い続けることではないのでしょうか。YBAのメンバーは常にこのよう

鈴木 寿昭【すずき じゅしょう】

浄土真宗本願寺派布教使
仏教青年連盟指導講師
東北教区山形組明善寺衆徒





New Goods 紹介!!



教材委員長の弘崎です。
 今回も皆さんに教材の紹介をするため、登場してしまいました。(今回は僕の写真付のようで、何ともお恥ずかしいかぎりです。)

新教材紹介

①新バッグ、まもなく完成!

長年にわたり皆さんにご利用いただきましたナップザックから今回一変します☆本当は、写真でお見せできればよかったのですが、残念ながら現在作成の最終段階でして…とりあえず今回は雰囲気だけでもお伝えしようと思います。

では、想像しやすいように目を閉じてください…。はいっ、読めません。大変素直な方に、感謝致します m(_ _)m



冗談はさておき、新バッグは、トートバッグです。A4版サイズがすっぽり入り、キャンパス地でとても丈夫です。そして、デザインは普段出かけるときにも持ってもらうことを意識し

て、多くの方にご意見をいただきました。教材委員として自信を持って皆さんにお勧めできるものが出来たと思っています。完成お楽しみに!!!

②クリアファイル

完成品をみて、個人的に非常に気に入っています。ここから欲しい!と思っています。仏青会員の家に行くと、このクリアファイルの1枚や2枚は部屋にあるというくらい皆さんに利用してもらえたらと思います。



③仏青紹介チラシ

仏教青年連盟では、会員の増加そして単位会の新設を推進しています。その際に、是非使ってもらえたらと思っています。委員会で話し合っていく中で、今の教材委員が今まで仏青活動をして感じた想いを素直にチラシにしてみました。一人でも多くの仲間が出来るといいなあと思います♪

新しい教材はこの3つです。

現在ある教材も是非ご利用いただけたらと思います。どんなものがあるかわからないという方は、仏教青年連盟のHPでもみることが出来ますので、アクセスしてみてくださいね。では、以上です(^_^)v

研修委員2年間を通して

この2年間、研修委員会では4回の研修会をしました。まず「第51回中央研修会」。この研修会では参加者の皆さんに数班に分かれてもらい、限られた食材の中で料理を作りました。そのことを通して1つのものを作りあげていく為の順序などを学びました。

次に「第6回リーダー育成講座」。ここでは、「仏青」のことをあまり知らない人、又知らない人たちにどういう風にPRすれば、理解してもらえるのかということ、CM作りを通して学びました。3回目は「第52回中央研修会」。こちらでは、「気づきに出会う」というテーマで、1つの問いに対して他の人はどう考えているのか、また自分の中の考えをもとに、気づきの更にも奥の気づきに出遇っていくことを学びました。最後の「第7回リーダー育成講座」では、過去3回の研修委員の想いを全て込めました。自分たちで何かをしようとした時に、まずは何から始めればいいのか、どういう風に作りあげていくのか、どういった気持ちで込めるのかを「昔あそび」というコンセプトで研修プログラムを設定し、そのノウハウを学びました。以上が過去4回の研修内容です。参加された方、有難うございました。又これから参加しようかなと思っっている方、お待ちしております。

(研修委員長 岡橋 大城 京都教区)



みなさん、仏教青年連盟のHPにはもうアクセスして
いただけましたか？

このHPでは、仏青の歴史やGoods紹介、全国各地で
行われたイベント行事の報告や今後の予定など、仏青に
関する様々な情報を見ることができます。

もちろんみなさんからの投稿も随時募集中!!ほんの
一言でもかまいません。イベントのPRや行事報告など、
ぜひぜひこのHPを利用して全国の仲間に伝えてください!
さあ、今すぐコンピューターを立ち上げて下記のアドレ
スにアクセス☆

<http://www2.hongwanji.or.jp/soshiki/yba/>

YBA. HP

リニューアル決定!!

デザイン、内容ともに大幅バージョンアップ!
携帯からもアクセスできるようになります。

coming soon



編集後記

中央委員の任期で、メンバー改
選されちゃうんですね。そこ
で、この「まこと」発行に携わっ
てきた広報委員のメンバーを最後
に紹介しておきます。デザインの
南庄泉。文才の鈴木敏子。冷静な
目を持つ中島信。キャラ濃い中村
道明。繊細な栗本真実子。頼れる
おかんの米田浩美。歌う編集長の
三浦明利。以上のはちゃめちゃパ
ーティーが「まこと」をお届けし
てまいりました。読んでくださっ
た皆さんありがとうございました。

次号からは新しい中央委員のメ
ンバーで「まこと」が発行され新
しい風が吹き込むことになるでし
ょう。「でも、大丈夫?どうなっ
ちやうの?」と危惧されているあ
なた。心配御無用!一人でも多く
の方に、これを読んで「仏教青年
連盟」の活動を知ってもらいたい
という熱い気持ちと、広報委員の
めっちゃ高いテンションは引き継ぎ
ます。

しかも、実はもう次の「たくら
み」があるんです。これからも「ま
こと」お楽しみに!

(広報委員一同)

次号のまことは何かがちがう!?乞うご期待!!